「大学の世界展開力強化事業」コンソーシアム会議と研究交流発表会を開催

2024 年 12 月 6 日、中国・山東大学（済南キャンパス）において、2021 年に採択された「大学の世界展開力強化事業」（第 3 モード）の第 4 回コンソーシアム会議及び第 2 回研究交流発表会を開催しました。この会議は、国際的に活躍できる人材の育成に係る交流プログラムを円滑に遂行していくことを目的に、日中韓の三大学が持ち回りで年 1 回開催することになっており、前回は韓国・成均館大学校で開催しました。今回のコンソーシアム会議には、中国山東大学呉臻副学長他事業関係者 10 数名、本学からは蒋宇静国際交流担当副学長をはじめとする 7 名、韓国成均館大学校は 2 名、ラオス国立大学は 2 名、およびシンガポール南洋理工大学は 1 名で、約 40 名の関係者が対面とオンラインのハイブリッド形式で参加しました。

午前中に開催したコンソーシアム会議では、本学の鈴木誠二准教授が 2024 年度活動実績の報告を行い、2025 年度の活動計画を提案した後、意見交換が行われました。とりわけ 2024 年 7 月にラオス国立大学と長崎大学との間は、学生交流に関する MOA が締結されたので、本事業の ASEAN 拡張に繋がる大きな一歩を踏み出したと言え、五大学間における持続可能な高度人材育成システムの構築に大きく寄与することになります。

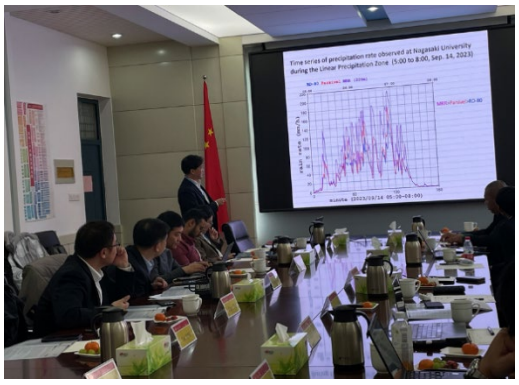
コンソーシアム会議参加者による記念写真（山東大学キャンパスにて）

午後からは昨年度に続き、「国際コラボレーション・ラボ」の一環として、大学間の研究交流促進を目的とした「研究交流発表会」が山東大学の主催により行われました。本学からは板山朋聡教授と瀬戸心太准教授が各自の研究内容を紹介し、山東大学からは 2 名の若い教員、成均館大学校とラオス国立大学からもそれぞれ研究成果の発表をなされました。このように研究交流と情報共有を継続的に実施することにより、大学間の協力強化と教員間・学生間交流の活性化が一層進められています。

インフラ分野におけるグローバル人材育成のために、日中韓 ASEAN の五大学が互いに協力し取り組んできた「大学の世界展開力強化事業」（第 3 モード）は 2026 年 3 月に終了します。最終年度となる 2025 年度は、本事業の集大成とすべくより一層の充実を図り、引き続き五大学間で緊密に連携しながら、より多くの優秀な人材を各国に送り出すために事業をしっかりと進めていき、次のステップに繋がることを目指します。

コンソーシアム会議の様子

板山 朋聡教授の研究紹介



瀬戸 心太准教授の研究紹介

ラオス国立大学 Khamhou Saphouvong
教授の研究紹介